



お知らせ版

Public Relations Magazine
Oshu City

Vol. 130
2016 **12**

■最優秀賞（採用作品）



【マークの主旨】

水沢・江刺・前沢・胆沢・衣川の5地域を輪（和）で表現。円のつながりは協働のまちづくりへの市民の心のつながりを意味し、マークの中心は発信と成長していく芽、希望を表します。

【作者】 後藤 二三夫 さん（69）
＝奥州市水沢区＝



小沢市長から賞状を受け取る後藤さん（右）

その他の受賞者

佳作（2点）
衣川地区振興会
＝奥州市衣川区＝
梅村 元彦 さん（76）
＝愛知県春日井市＝
選考委員特別賞（1点）
米倉 寿莉 さん
（水沢商業高校2年）

応募40作品の中から決定
平成28年9月12日から10月11日にかけて募集した「協働のまちづくり」のシンボルマークが決定しました。選ばれたのは水沢区の後藤二三夫さん（69）の作品です。

選考に当たっては、第一次審査で選ばれた10作品について、市民から意見を募集。市民公益活動団体支援事業審査会委員の意見も踏まえ、最終審査で最優秀賞（採用作品）1点と佳作2点、市内の学生応募者の作品から選考委員特別賞1点を選びました。

12月14日に採用作品を公表し、小沢昌記市長から作者の後藤さんに、賞状などが手渡されました。

「協働」の旗印として

されました。

皆さんから多くのご応募をいただいた「協働のまちづくり」のシンボルマーク。採用されたマークは今後、「協働のまち」の実現に向けた取り組みの発信に広く活用していきます。

■問い合わせ〓本庁地域づくり推進課（江刺総合支所・内線322）

つながりで「協働」をアピール

「協働のまちづくり」シンボルマークが決定

す。

■応募状況

▼応募者数 28人・1団体

【内訳】 市内15人・1団体（うち専門学校生1人・高校生6人・小学生1人）

県内1人、県外12人

▼応募総数 40点

■作者のコメント 受賞に驚きました。最初の発想を生かし、一気にデザインしたことが良かったようです。